

メイプルソープの

「写真集」どまごが「猥褻」

ロバート・メイプルソープ。一九四六年ニューヨーク生れ。八三年の写真集『レディ・リサ・ライオン』で世界的名声を博し、アト界の寵児となる。八九年エイズで死す。

このメイプルソープの写真集を巡って日本で裁判が展開された。税関で「猥褻

物の輸入禁止処分」とさ

れ、写真集を没収されたのは土屋勝さん(三)ソフトウェア開発会社経営。そして十月二十七日、この没収は憲法違反の検閲であるという土屋さんの訴えも、東京地裁で棄却されたのだ。

「性器が写ってれば、どんな芸術写真集だろうと猥褻だと言うんですから、これはナイフを持っていれば全て人殺しに使うと思ひ込むのと同じですよ」と、ご本人の土屋さん。確かにメイプルソープの写真集には、はっき

り男性性器が写っているショットが数点ある。が、花の写真などと並んでも違和感はなく、世に氾濫するヘアヌードに比べればその芸術性は明らか。

「アメリカでもメイプルソープの写真は論議を呼んだ。しかし、それは公開されてからの話。表現の場は与えられているんです」(写真評論家・大島洋氏)

実は日本でも、裁判以前からこの写真集は売られていた。要するに税関は気付くのが遅かっただけ、というのが本当の所だ。故に土屋さんも納まらない。

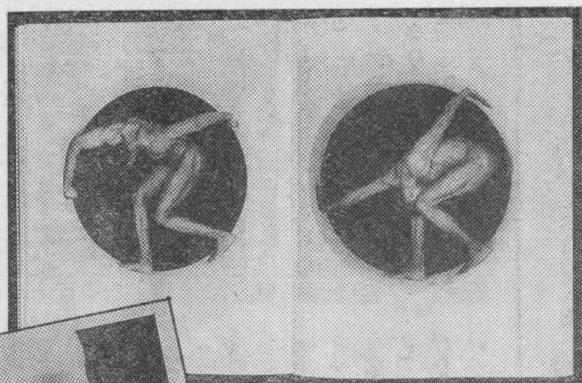
「ヘアヌードが子供でも手に取れる本に載っている国で、個人用を買ってきた本を没収するなんて矛盾している。普通の感覚なら、男性器を見て劣情を催すなんて事はありませんよ」

現在控訴を準備中だ。

大手が続々参入する「コミック

戦争」の成否

六千億円とも言われるのがコミック市場。甘い蜜に



「世紀の」写真集?

屋さん。確かにメイプルソープの写真集には、はっき

